雨天中止

特別展観「没後200年 上田秋成」開催記念

映画「雨月物語」映画鑑賞会

― 奇才上田秋成の世界へいざなう ―

特別展観「上田秋成」チケット半券持参の方 | 小・中学生 | キャンパスメンバーズ

野外上映

上記対象者は無料

第14回ヴェネチア国際映画祭　銀獅子賞受賞作品

日　時：平成22年7月30日（金）　19時20分～
平成22年8月6日（金）　19時20分～
※日の入りにより、開始時刻が遅れることがあります

場　所：京都国立博物館　丸池付近（正門側）
16mmフィルムで上映
上映時間 97分

京都国立博物館 東山七条
KYOTO NATIONAL MUSEUM

文化力

映画「雨月物語」映画鑑賞会　野外上映

奇才上田秋成の世界へいざなう

～日本映画の巨匠　溝口健二監督作品～

日時　平成22年7月30日（金）19時20分～ ／ 平成22年8月6日（金）19時20分～
計2日各1回上映いたします。（上映時間97分）
※野外上映のため、雨天の場合中止となります　※日の入りにより、開始時刻が遅れることがあります

場所　京都国立博物館　丸池付近（正門側）
野外スクリーンを設置、16mmフィルムで上映いたします。
特別展観「上田秋成」のチケットをお持ちの方は無料です。（チケット半券をご提示ください）
※小・中学生及びキャンパスメンバーズは無料でお楽しみいただけます。

映画「雨月物語」　©1953　角川映画
原　作：上田秋成
製　作：永田雅一
監　督：溝口健二
脚　本：川口松太郎／依田義賢
撮　影：宮川一夫
音　楽：早坂文雄
出演者：京マチ子／森雅之／田中絹代／小沢栄／水戸光子／上田吉二郎
公開年：1953年

戦乱の到来を契機に大商いを目論む陶工の源十郎と、侍として立身出世を夢見る源十郎の義弟の藤兵衛、そして源十郎、息子と家族3人で貧しくともささやかな幸せを望む妻の宮木。

そんな三人の命運を、やがて荒廃した時代が飲み込んでいく…。

世界に名高い巨匠・溝口健二の代表傑作「雨月物語」は、怪奇文学の父・上田秋成の原作をもとにモーパッサンの「勲章」を加え、川口松太郎、依田義賢が脚色、名コンビ宮川一夫が撮影にあたった文芸巨編です。

第14回ヴェネチア国際映画祭 銀獅子賞、同イタリア批評家賞
1953年毎日映画コンクール 美術賞、録音賞
1953年文部賞 芸術選奨（宮川一夫）
1955年エジンバラ映画祭 デヴィッド・O・セルズニック賞

上田秋成（1734～1809）
怪異小説「雨月物語」で有名な上田秋成（1734～1809）は、小説家としてだけでなく、俳人・歌人・国学者としても多くの著作を残し、独自の世界を築きました。
大坂に生まれた秋成は、前半生をこの地で過ごし、43歳の時に「雨月物語」を出版します。60歳で京都に移住しますが、その後も続く旺盛な執筆活動には驚くべきものがあります。晩年の傑作「春雨物語」も京都で執筆されたものです。

溝口健二（1898～1956）
大正・昭和期の映画監督。1920年（大正9）日活に入社、22年「愛に甦へる日」で監督となり、「浪華悲歌」「滝の白糸」などで無声映画時代に地位を確立しました。第二次世界大戦後は、「西鶴一代女」（52年）「雨月物語」（53年）「山椒大夫」（54年）の3作品が、ヴェネチア国際映画祭で3年連続受賞の栄誉に輝いています。

京マチ子（1924－）
大正13年3月25日生まれ。大阪松竹歌劇団ダンサーをへて昭和24年「最後に笑う男」で映画デビュー。「痴人の愛」で注目され、25年の「羅生門」、28年の「雨月物語」と、ベネチア国際映画祭受賞作品に主演して国際的女優となりました。アメリカ映画「八月十五夜の茶屋」などに出演し、舞台、テレビでも活躍しています。

京都国立博物館催事案内

特別展観「没後200年記念 上田秋成」

平成22年7月17日（土）～8月29日（日）

上田秋成

この展覧会では、初期から晩年にいたる秋成の自筆原稿や出版物などを広くあつめ、彼の幅広い活躍をご紹介します。さらに、交友のあった画家たちの名品をあわせて展示し、上田秋成という魅力的な人物を通して見た、18世紀後半の多彩で豊かな文学・芸術の世界をお楽しみいただきます。
休館日：月曜日　※ただし7月19日、20日は開館
開館時間：午前9時30分から午後6時まで（入館は午後5時30分まで）
※ただし会期中の毎週金曜日は午後8時まで（入館は午後7時30分まで）
観覧料：一般　800円（600円）、大学・高校生　500円（300円）
中学生以下無料　（　）内の料金は団体20名以上
本料金にて、同時開催の特集陳列「新収品展」もご覧いただけます。
障害者の方と介護者（一名）は無料となります。博物館入り口にて、障害者手帳をご提示ください。
キャンパスメンバーズ会員校の学生証を提示いただくと、無料となります。

同時開催
特集陳列「新収品展」

京都国立博物館 東山七条
KYOTO NATIONAL MUSEUM
〒605-0931 京都市東山区茶屋町527
http://www.kyohaku.go.jp